

☆巨福寺檀信徒コラム(ご紹介) 小池 明夫さん

昨年 7 月に喜寿を迎え、人生の半分近くを北海道で過ごしてきました。昭和 44 年 7 月に国鉄に入社し、昭和 59 年 5 月に札幌へ転勤となりました。昭和 62 年 4 月の国鉄分割民営化により、JR 北海道の社員を命じられました。北海道は国土のほぼ 2 割の広大な面積を占めていますが、人口が 500 万人余と少なく、しかも人口の 6 割は札幌圏に集中しています。更に、鉄道と高速道路がほぼ並行して走っており、鉄道経営には不向きな地域です。鉄道収入を増やすには限界があり、鉄道以外の分野で収入を上げるため関連事業の拡大に努めました。平成 15 年には、札幌駅に社運をかけたホテルやオフィスが入る高層の複合商業施設「JRタワー」が開業しました。駅ビルの売り上げは順調に推移し、札幌駅周辺は見違えるように活性化されました。しかし、鉄道利用客が減少する傾向に歯止めがかからず、現在も、厳しい経営状況が続いています。冬季オリンピックの札幌開催は 2042 年以降に遠のきましたが、JR 北海道にとって起死回生の機会となる新函館～札幌間の北海道新幹線については、多少の遅れが懸念されていますが、2030 年度の開業を目指して工事が着々と進んでいます。



話は変わりますが、昨年 10 月末に、母の 7 回忌、併せて長兄とその次女の 23 回忌を巨福寺さんで執り行いました。陽光うららかな晩秋の日、お上人様の読経の声の本堂に静かに流れました。「お斎」は「神原荘」で行いました。紅葉には少し早かったのですが、山あいの静かな環境の中で、故人を偲びながらのひと時を過ごしました。巨福寺さんと小池家のご縁は祖父菊五郎の代から始まりました。菊五郎は鮮魚店を営み、近在の多くの農家をお客様として販路を広げていました。分家であるわが家は本家に隣接しており、年の瀬には正月用の「ぶり」の魚箱が店先に山のように積まれていた光景が思い出されます。父は、「台風で巨福寺さんの石垣が崩れた際、親父は率先して修復に必要な寄付をするなど熱心な檀信徒だった」と申しておりました。「お寺さん離れ」が何かと話題になる昨今、巨福寺さんと檀家の皆様の絆が、末永く続きますように北海道の地より祈念しております。 北海道札幌市 小池 明夫 合掌

— 小池 明夫さん プロフィール —

昭和 21 年、高梁市本町小池幸夫・英子夫妻の三男として生まれ、東京大学を卒業後、国鉄(現 JR)に入社。後に JR 北海道・代表取締役社長、会長を歴任。現在もお住まいの北海道はもとより、高梁市市政アドバイザーなどでご活躍中です。



札幌駅 JRタワー

4月29日 お釈迦さまご降誕会 花まつり 稚児行列

巨福寺花まつり・護持会総会に併せて、道源寺様と合同で花まつり稚児行列が賑やかに行われました。一行は高梁幼稚園を出発し巨福寺へ。つづいてお釈迦様幼像の乗る大きな白象が待つ道源寺へ参詣しました。たくさんの子供たちの笑顔で溢れた今行事、今後も共々継続していきたいと思ひます。



10月20～22日 道源寺と合同で身延山久遠寺へ参拝

巨福寺としては約10年ぶりとなる身延山へ、道源寺様と合同で参拝致しました。巨福寺からは4名でしたが、身延山内宿坊に宿泊し、翌朝は6時からの朝勤に大本堂から諸堂すべて参拝列席し、靈験あらたかな総本山身延山の靈氣及び御利益を存分に頂戴致しました。のち一行は富士山を一周眺めながら本栖湖や箱根などを観光し、伊豆伊東の温泉にて宿泊し、皆とても楽しく有意義な団参旅行となったようです。



11月19日 巨福寺ペット霊園 合同供養祭

昨年初めて、巨福寺役員の皆様ご承諾のもと、巨福寺本堂をお借りし、ペット霊園をご利用の皆様と共に、今は亡き皆様の家族同然のペットたちの合同の供養祭が為されました。 ～ 日蓮聖人と動物供養 ～



聖人が晩年身延山におられた頃、布教をしていた時に、とある方から聖人にとおまんじゅうのご供養を受けました。するとそこにそのまんじゅうを欲しがらる犬がやってきて、心優しい聖人はそのまんじゅうをその犬にあげたところ、実はそのまんじゅうは聖人を憎み毒殺しようとした他宗の者が作り贈った物で、その犬は毒により死んでしまいました。自分の身代わりとなってくれた犬にいたたまれない聖人は、ご自身が持っていた杖を墓標にし、その犬を手厚く弔われました。その墓標となった杖は根をはり成長し、現在でも身延町上澤寺の境内にあり、巨大霊木「さかさ銀杏の木」として今なお崇められています。

◎今後の行事予定： 1月14日(日)14時～ お焚上げ 1月28日(日)14時～ 節分会・福引き抽選

2月15日(木)11時～ 釈尊涅槃会 3月17日～23日 春彼岸 4月29日(月)花まつり・総会